



サーキュラーエコノミービジネス 実践企業

姫路商工会議所では、新しいビジネス機会として、持続可能な社会の実現に向けて資源を無駄にせず循環させる「サーキュラーエコノミー」の経済システムに注目しています。このコーナーでは、サーキュラーエコノミーに関するビジネスに取り組んでいる事業所を紹介します。

サワダ精密 株式会社

自社の設計力で、現場から出る廃油を大幅削減

サワダ精密について

サワダ精密株式会社は、金属切削加工業を生業とし、昭和59年（1984年）に創業した姫路市を拠点とする企業です。「モノ作りは人間の原点である」という経営理念のもと、切削、旋削、研削、放電などの多角的な加工技術を駆使し、日本の産業を支える製品を生み出すことに取り組んでいます。自動省力化装置や試験装置の製作など、金属加工だけでなく設計から電装、組立までを自社内で一貫して完結。設計と現場の技術を直結させることで、顧客の構想を迅速かつ高精度に具現化する体制を確立するだけでなく、自社内の製造現場の改善にも取り組んでいます。

切り屑とともに排出されるクーラント液（切削油剤）を最小限に。

クーラント液（切削油剤）は、金属切削加工業において毎日使用されるものであり、工具の冷却や潤滑、切り屑の排出に不可欠なものです。その維持・廃棄コストは経営上の大きな課題でした。基本的にタンクに戻って循環されますが、切り屑に付着している切削油剤もあるため、分別する時間と廃棄の費用、補充する油剤の費用が必要です。この課題を解決するために自社の設計部隊が自社製品「油きりっ子」の開発を手掛け始めました。

油きりっ子は、工作機械に使用される切削油剤の排出量を抑える装置です。当社実績として、加工機1台から月あたり43Lの廃油がりましたが、設置後は0.6Lとなりました。月あたりの廃油量が減ったことで、切り屑と切削油剤の分別工数や排出と補充コストのカット、節電にもつながり、コスト削減と環境負荷低減を両立させることが出来ています。また廃油の運搬や処理プロセスで発生する二酸化炭素の削減にも寄与しており、脱炭素社会の実現に向けた具体的なソリューションとして考えております。

現場の困りごとを自社の設計力で解決し、それを製品化して社会へ還元する。こうした実体験に基づいた改善の積み重ねこそが、サワダ精密が提案する新しい製造業の在り方です。

今後の展望

自社内で設置可能な加工機への展開を終え、関係するお近くの企業様を中心に油きりっ子を展開していきます。自社で効果を実証済みだからこそ、自信を持ってお客様の工場の生産性向上と環境経営を強力に支援できると考えています。

今後も弊社内の加工工場にて切削油剤の自動供給装置や節電用の装置、浮上油の除去を目的とした装置の製作や開発を続けていきます。製造業が直面する労働力不足やコスト増といった共通の課題に対する一つの解を示す試みとして自社が「実験場」となり、現場で役立つ技術や製品、システムを磨き上げていきます。

世界的にエネルギー供給網が混乱に陥っている中で、設計と加工現場を兼ね備えていることで、現場の声を設計に即座にフィードバックできる強みを活かし、今後もコスト削減と環境負荷低減を目的に活動を継続したいと思っております。



101工場



油きりっ子



取り付け風景



組立場

D 代表者：澤田 洋明
A 事業内容：金属加工業（切削、研削、放電）、各種試験装置、検査装置の設計製作
T 所在地：姫路市広畑区吾妻町1-39
A TEL：079-239-2225
HP：https://www.swdpre.co.jp/